

第 43 回北信越中学校総合競技大会(陸上競技) 感染拡大予防ガイドライン

※ 大会開催時の感染状況により、入場者の制限を厳しくする場合がある。

【Ⅰ 感染対策の基本方針】

- 1 入場者の制限をする。(詳細は「Ⅱ入場に関する事項」を参照)
- 2 参加者全員の健康状態の把握を徹底する。
 - ・大会前後1週間健康観察を行い「体調記録表 修正版(別紙1)」と「行動履歴書 修正版(別紙4)」を記入し、各自で1ヶ月間保管する。
 - ・大会当日に受付に所定の「体調記録表」を提出する。(詳細は「Ⅱ入場に関する事項」を参照)
- 3 参加者全員のマスク着用を基本とし、手洗い、手指消毒を徹底する。
(熱中症が心配される場合は、十分な距離をとり、マスクを外すことも可とする)
- 4 競技中における応援に関しては、声を出さない方法や拍手のみとすることを周知する。(鳴り物を使用してはならない)

【Ⅱ 入場に関する事項】

当日は受付を設置し、大会会場への入場者の把握を徹底する。また、入場時の手指消毒を徹底する。

大会会場へ入場できるのは以下の①～⑤に該当する人のみとする。

- ① 登録選手
- ② 監督・引率顧問
- ③ 選手の家族(選手1名につき2名まで)
- ④ 学校関係者(②以外1校3名まで(コーチも含む))
- ⑤ 大会役員(審判 競技運営 各県協会関係者)

※①②は、学校ごとに「**学校同行者体調記録表 修正版(別紙2)**」を提出する。

※③④⑤は、「**来場者体調記録表 修正版(別紙3)**」を提出する。

選手、監督、引率顧問、学校関係者

- 1 受付後の会場の出入りについては、選手はアスリートビブス、監督・引率顧問・学校関係者は、ADで識別する。
- 2 スタンドでは、各県に割り当てられたスペースでのみ観戦及び応援する。割り当てられたスペース以外への立ち入りを禁止する。

選手の家族

- 1 保護者受付の際に「**来場者体調記録表 修正版(別紙3)**」と引き換えにADを渡し、再入場時の受付済みの識別をする。
- 2 動線を、入場受付から制限されたスタンドのみとし、選手との接触をしない。

競技役員

- 1 競技役員で長野陸上競技協会の公認審判は、公認審判服装を着用する。
- 2 競技役員で協力役員は、ADを着用する。

【Ⅲ 事後対応】

- 1 提出された「体調記録表」については、個人情報の取り扱いに十分に注意して、大会責任者が大会終了後、1ヶ月間保管する。
- 2 大会終了後、1週間以内に参加者から新型コロナウイルス感染症が発症した場合、速やかに当該校から自県中学校体育連盟陸上競技専門委員長に報告する。